

キャンプファイアー

◆◆ 野外ゲーム ◆◆

活動の概要	静けさの中、炎を見つめながら、歌を歌い、ゲームで交流し、スタンツなどを演じたりし、参加者全員が心を通わせることによって、連帯感や友情を深め、楽しい思い出をつくることができます。
対象	小学校低学年～
所要時間	1. 5時間～2時間
活動場所	すりばち広場・わんぱく広場・中山湖広場 150人～200人 程度 森の広場・三日月広場・三角塔広場 50人～100人 程度
準備する物	利用団体：薪と灯油（売店より購入） マッチ 新聞紙 懐中電灯 トーチ棒（ご持参ください。） 自然の家：防火および消火用具（バケツ スコップ） 放送機器（アンプ マイク カセットデッキ等）
留意点	① 営火床は、「かがりび台」を使用してください。 ② 開始時から後始末まで、火には細心の注意を払い、終了後は完全に消火し、必ず事務室へ連絡してください。 （夜9時30分までに、消火しましょう。） ※火災防止のため、火が大きくなりすぎないようにお願いします。 ③ 残炭は、水をかけ消火を確認し、残炭置場に片付けてください。 ④ 季節・天候に応じて防寒着を準備しましょう。 ⑤ 足もとの安全のため、各グループ1個ずつ懐中電灯を準備してください。 ⑥ キャンプファイアーには、定形といったものがないので、ファイアーの目的・日程・場所・参加者の実態を考慮して計画してください。

薪の組み方

信州高遠青少年自然の家では、鉄柱でできた聖火台型のかごの中に、薪を組んで燃やす方法をとっています。保安林等の関係で、大きく高く燃やすことを禁止しています。

短い時間で燃やしきる場合には、太い薪の間に細かく割った薪を入れたり、灯油で湿らせたりして、一気に燃え上がるように積み上げてください。

ゆっくりと時間をかけて燃やしたいときは、炎があまり立たないように、積み上げ方を工夫してください。

★ 高遠方式 【かがり火台型】



展 開 例

1. 点火の仕方（ファイアーの形態などによって使い分けるとよい）

- ① トーチ点火式・・・・・・・・素朴で厳粛なもの
 - a 直点火・・・・・・・・棒持者の1本のトーチによる点火方式
 - b トーチサービス・・・・・・・・聖火隊に分火し、同時に点火するもの
- ② マジック点火方式・・・・・・・・意外性があるが、危険性もあるので研究しておくことが大切です。

2. キャンプファイアーの事前準備

☆運営のための役割として

- ① 営火長（ファイアーチーフ）
 - ・キャンプ最高責任者が主に務め、儀式的なところが役割です。
- ② 司会者（エールマスター）
 - ・キャンプファイアー全体の進行役です。
- ③ トーチ棒持者・聖火隊（トーチペアラー）
 - ・トーチ棒などをもち、ファイアーに点火する役割を担います。
- ④ 営火係（ファイアーキーパー）
 - ・縁の下での力持ちで、火を燃やすことが専門の係であり、その場の雰囲気やプログラムの進行に合わせて、火の大きさを考えることが大切です。
- ⑤ レクリエーション指導者
 - ・ダンスやゲーム等を主に担当・指導します。

3. プログラム例

☆キャンプファイアーには、厳粛な儀式と友情を深める親睦の火がある。

儀式の火（15分） ★集合 ★歌 ★営火入場 ★点火の言葉 ★点火 ★歌 ★営火長の言葉	親睦の火（60分） ★歌 ★ゲーム ★スタンツ ★ダンス ★グループの出し物	儀式の火（15分） ★分火 ★おわりの言葉 ★歌 ★解散
---	---	--